

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2021 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

なお、フィールド競技用シューズについては、WA 規則第 143 条（TR5-5）の適用を除外する。

1. 競技場への入場について

- (1) 入場は各種目開始 2 時間前とし、1F 正面玄関のみとする。
- (2) 退場はマラソングートを使用すること。再入場はマラソングートのみとし、入場には当日配布する**入場許可証**を競技役員に提示すること。
- (3) 無観客での開催とするので、正面 2F メインスタンド入口は開放しない。

2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技会開始前のトラックを利用しての練習は、競技開始の 30 分前までとする。
〔ホームストレート・バックストレート〕
 - ・1・2 レーンは長距離周回練習 ・ジョグはレーン外
 - ・3～5 レーン＝コーナーからのスプリント練習 ・6～9 レーン＝直線からのスプリント練習**※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。**
- (3) 競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。
- (4) ハードル種目の練習は、競技開始前にハードル設置後に行うこと。
- (5) 競技場内はメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

3. 招集について **※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する**

- (1) 競技開始 2 時間前～1 時間前（棒高跳のみ 1 時間 30 分前）までに「**体調管理チェックシート**」を室内練習場内に設ける競技者受付にて提出し、競技で使用するシューズとアスリートビブスの確認を受けることで、一次招集完了とする。但し、競技開始の 2 時間前が開門時刻より早いときは、開門時刻以降受け付ける。
- (2) 二次招集は現地招集とし、招集時間はトラック競技 15 分前開始 10 分前完了、フィールド競技 50 分前開始 40 分前完了とする。（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了とする。）
- (3) 一次招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。
- (4) 点呼の代理は認めない。但し、多種目を兼ねて出場する競技者は、「体調管理チェックシート」にすべての種目を記載し、その日の最初の種目の一次招集を完了することで、種目の一次招集も兼ねることとする。但し、同時時間帯に競技が行われる可能性がある場合は、「**多種目同時出場届**」に必要事項を記入し、競技開始の 60 分前までに競技者係に提出すること。
- (5) やむを得ず欠場する場合は、速やかにプログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。
- (6) リレーのオーダー用紙提出時刻は、開門時刻から組により設定されている競技開始時刻の 90 分前までに競技者係へ提出のこと。また、顧問のサインが必要なので、事前によく打合せを行うこと。なお、今回は代筆を認めることとする。

4. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。また、5000mW・3000mWについては、1次招集を受けた後、別ナンバーカードを受け取ること。
- (2) 2020年12月より改定されたWAのシューズ規則が適用され、靴底の厚さは20mm以下（ただし800m以上のトラック種目と三段跳は25mm）とし、一次招集時にスパイクチェックと同様にシューズ計測を行う。スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

【靴底の厚さに関する規定(TR5. 13. 3) 表】

種 目	靴底最大の厚さ TR5. 5、TR5. 13. 3	要 件 ・ 備 考
フィールド競技（除：三段跳）	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※ただし、フィールド競技用シューズについては、上記の規定適用を除外する。

- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
- (4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (5) 長距離競走について
- ①5000m、3000m、5000mWは二段階スタートを行うことがある。グループ分けは出発係の指示に従うこと。
 - ②コーンを使用してフィニッシュと周回を分ける場合がある。競技役員の指示に従って3レーンよりアウトレーンでフィニッシュすること。
 - ③競技会運営上、残り1周で5000m 18分30秒、3000m 13分30秒、3000SC 13分00秒を超える選手はレースを打ち切る。競歩種目においてはラスト1周で男子5000mWでは35分、女子5000mWでは39分をこえる選手は競歩主任が競技を打ち切る。
- (6) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んで서는ならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (7) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。

(8) フィールド種目について

- ① トップ8は行わない。
- ② 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。
- ③ 走幅跳・三段跳は1組（メインスタンド前トラック側）、2組（メインスタンド側）で行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を1組、バックスタンド側を2組とする。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。
- ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。 ※走高跳・棒高跳とも練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	2年：現場判断 練 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降 3cm ずつ
	1年：現場判断 練 1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降 3cm ずつ
女 走高跳	2年：現場判断 練 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降 3cm ずつ
	1年：現場判断 練 1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降 3cm ずつ
男 棒高跳	1・2年とも：現場判断 練 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降 10cm ずつ
女 棒高跳	1・2年とも：現場判断 練 2.00 以降 10cm ずつ

- ⑤ 砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。
- ⑥ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(9) フィールド競技の試技制限時間（単独種目）

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

5. やり及びボール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

6. 各種目・各学年6位入賞者に表彰状があるので、表彰係まで取りに来ること。

7. 競技場の使用について

- (1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- (2) 声を出しての応援は禁止する。
- (3) 横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。
- (4) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
 - ① 南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下
 - ② メインスタンド中段通路より下側およびメインスタンド屋根下
 - ③ メインスタンド記者席からフィニッシュ側の4ブロックエリア※テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(7) 更衣室は6～10名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用して会話しないこと。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (4) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。（記録ボードは設置しない）
- (5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (8) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部3・4地区WEBサイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。

第76回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部（中央大会）について

1. 中央大会への出場資格については大会要項（葦音140・141号合併号参照）に則る。
2. 中央大会の出場辞退について
 - ・大会2日目終了後20分以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後の辞退は受け付けない。
3. リレーメンバーの変更について
 - ・中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。今大会終了後の変更は受け付けない。（変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しない。）
4. 同記録が出た場合
 - ①トラック種目については規則第167条に従う（資料あり）。
 - ②走幅跳、三段跳、砲丸投、については、セカンド、サード記録で決定する。
 - ③円盤投、ハンマー投、やり投、走高跳については、抽選とする。

資料

規則第167条 同成績

2.（着順ではなく）時間を元にして166条3（b）によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記 規則により1/1000秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。